

## 第7期 新宿区多文化共生まちづくり会議 第3回全体会 議事概要

日 時 令和7年3月25日(水) 10:00~12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 小林委員、毛受委員、伊藤委員、郭委員、岩野委員、ゼヤー委員、李委員、金委員、坂口委員、  
叔委員、鈴木委員、武田委員、立川委員、陳委員、原田委員、朴委員、マッラ委員、センブ委員、  
井上委員、南委員、山口委員 21名

欠席委員 申委員、長谷部委員、松田委員、楊委員、江副委員、タイン委員、コチュ委員、ドゥラ委員、  
塚本委員、宗像委員、守重委員 11名

### 1 開会

### 2 事務局からの情報提供

事務局から外国人住民の国籍、年齢、在留資格等の情報提供を行った。

### 3 地域における交流事例について

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・私の日本語学校では、清掃活動、箱根山駅伝、スピーチコンテストしゃべれおん、地域の盆踊り大会などに参加している。留学生が地域の方と交流できる機会があれば、積極的に参加したい。
- ・地域センターのイベントだけを見ても外国人がいっぱい参加している。これは新宿区の特徴であると思う。イベントの後に良かった点、改善すべき点をフィードバックするとよいと思う。
- ・海外では、定住者に対して地域イベントのボランティア参加というプログラムがある。早い段階でコミュニティーに参加して交流すれば、本当の意味で地域住民になると考えている。
- ・ミャンマーのフェスティバルに行った時に、ミャンマーの文化を感じてワクワクした。日本人が外国の文化に触れる機会がもっとあるとよいと思う。
- ・大久保まつりのパレードに参加している。参加したベトナム人からは、今年も参加したいとの積極的な問い合わせがある。娘も参加していて、Kポップを踊っている。まさに多文化交流といった感じである。
- ・外国人も日本人も参加できる交流スペースを運営している。また、親子で楽しめるカフェも開催している。
- ・大久保図書館では外国語の本を借りられる。外国人の方に外国語で読み聞かせを行う試みをしている。
- ・すばらしいイベントがあることを、ほとんどの外国人は知らないと思う。外国人の参加者を増やすために、SNSなどを使うとよいと思う。
- ・日本人と外国人が、様々な活動やイベントを一緒にやると仲よくなる。文化や言葉の壁も減ってくると思う。
- ・大久保まつりに参加している。運営事務局の方を見ていると、ボランティアでここまでやるんだと感心する。拍手を送りたいぐらい皆さん頑張っている。
- ・新宿未来創造財団の「ひなまつり」に参加したことがある。着物の着付けや、生け花などの日本の文化体験ができるすばらしいイベントであった。参加したい人に情報が届くとよいと思う。
- ・日本語ボランティア教室をやっており、清掃活動や地域イベントに参加している。
- ・交流の目的を明確にすることが大事。
- ・外国人はイベント情報になかなかとどりに着けない。情報を広めるためには、日本語学校や専門学校、町会・自治会、商店会などのネットワークが大事と思う。

- ・情報発信は重要だが、SNSは年代によって使うものが異なる。若い世代はフェイスブックを使っておらず、インスタグラムかT i k T o kを使っている。
- ・外国人が主催者側として参加したら、多分コミュニティーへの愛着が非常に大きくなると思う。参加したいレベル別の情報発信の仕方をすると非常に効果的と思う。
- ・中国の書道家を招いて、エコギャラリーで展示会を開催したことがある。
- ・外国文化のイベントでは、会場を貸す側がヘイトを心配することがある。実際、何も問題ないが残念である。
- ・私の町会では日本語学校に声をかけて、花壇の植え替え、餅つき、子ども祭りに参加してもらっている。
- ・外国人がイベントに参加するときに、お客としてではなく、運営側のボランティアとして参加すると地域に溶け込めると思う。
- ・交流はイベントだけでなく、様々な機会があると思う。
- ・今年も10月に大久保まつりを開催するのでぜひ参加してほしい。

#### 4 その他

事務局から第4回会議の日程について説明があった。

#### 5 閉会